



# 波紋

発行所 教育活動総合サポートセンター  
〒213-0033 川崎市高津区下作延 5-11-8  
E-mail [support0731@luck.ocn.ne.jp](mailto:support0731@luck.ocn.ne.jp)  
URL <http://www16.ocn.ne.jp/~srimi/>

## あけましておめでとうございます。



未年の由来は、群れをなす羊は家族の安泰を示し、いつまでも平和に暮らすことを意味している。サポートセンターも11年目を迎え、子供たちが安心して充実した学習ができる居場所であるよう、所員一同新たな気持ちで臨みたいと思っている。

新年の大きな事業として文部科学省の委託研究報告会を予定している。不登校・いじめ等への対策を念頭に、当サポートセンターで開発した2種類の「チェックシート」の調査研究、そこから得た特化指導プログラムによる実践、「福祉と教育の融合をめざしたコーディネートのあるかた」を柱に実施する。

児童福祉法による「福祉の団体」としての本領を発揮したい。

「あさおゆうゆう広場」の敷地に併設している「のびのびファーム」で、今年もみごとに野菜の収穫期を迎えた。

北条秀衛さん（元教育長）はじめ農業ボランティアの方々の協力で今年も麻生中、麻生小、百合ヶ丘小の児童生徒の収穫の喜びの顔をみることができた。この事業は、平成19年川崎市総合教育センターから委託を受け、農業体験活動を通して食育教育の一端を担うものである。

この計画が生まれる前の敷地は、土ぼこりのが舞う運動場であったという。地域住民の苦情もあったとのこと。サポートセンター設立時のメンバーがくわやスコップを手に開墾し、無農薬、完全有機肥料による農場に変身した。



わーい 収穫だあー



## のびのびファーム

## 27年 1月の行事予定

日	曜	主な行事
1	木	サポートセンター冬休み
2	金	
3	土	
4	日	
5	月	仕事始め 学習支援集中講座 (川崎・幸)
6	火	(青) 卓球 (旭) 読み聞かせ (南) 安全点検 学習支援集中講座 (川崎・幸・宮前)
7	水	研究推進委員会 10:00~ ふれあい活動打合せ 14:00~ 青少年の家・ふるさと館経営委員会 (学習プラザ 13時30分)
8	木	(南) 運営会議④ (旭) お茶
9	金	役員会 14:00 教育会館 (南) 子育てサロン (旭) スーパーバイズ⑨
10	土	(青) KYWC
11	日	
12	月	(青) エコチャレンジクラブ⑧
13	火	(青) 卓球
14	水	(山) ふるさと発見講座
15	木	
16	金	
17	土	サイエンスキッズ①宮ノ下
18	日	サイエンスキッズ②宮ノ下子ども運営委員会⑧
19	月	
20	火	(青) 卓球、お話し会 (旭) 読み聞かせ
21	水	学習・相談部会 (南) 読み聞かせ (山) こども探検クラブ
22	木	(青) リトミック (旭) 保護者会⑤
23	金	会計担当者会 9:30・認定化委員会 13:30
24	土	サイエンスキッズ③宮ノ下 10:00 親の意見交換会 13:30 教育会館
25	日	サイエンスキッズ④宮ノ下 10:00 (青) KYWC
26	月	(旭) COOKING
27	火	(青) 卓球
28	水	
29	木	
30	金	事務局長・次長会議 9:00 事務局会議 10:00
31	土	サイエンスキッズ⑤宮ノ下 10:00

**NPO 子どもたちに力を!**

2009年2月1日(水)にサポートセンターのホームページを公開しました。  
教育活動総合サポートセンターへようこそ。  
「子どもたちに力を」を目標として活動しています。

10月1日、更新しました。 **2018年度予定**

不登校や学習の遅れで悩んでいる方、保護者の皆さん  
見学・相談を随時受け入れます(無料)

教職員の方はこちら(無料)

**川崎市立小・中学校でサポーターを  
やってみませんか(募集)**

※子どもや保護者から信頼される教師を目指して  
平成25年度 開催

**NPOサポートセンター  
ホームページ：更新アップ**

更新作業の葛籠員副理事長

葛籠員副理事長のPC技能発揮により、これまでのサポートセンターホームページが大幅に改訂された。操作をより簡略できるようにトップページにメニューを設定した。「子ども支援」からはふれあい体験など9項目、「保護者支援」からは親の意見交換会等6項目、「学校支援」ではサポーター配置事業等4項目、「研究・文化活動」では文部科学省委託研究等6項目、「サポートセンター」では概要、組織図、定款等6項目を掲載している。

文部科学省委託研究は平成17年に始まり8冊の研究紀要を発行しているが、そのすべてのページを掲載している。機関誌「波紋」は平成4年創刊号が発刊された。これも全刊掲載した。「波紋号外写真版」は、平成21年7月に第1号が発行されこの新年号で59号になり、これらすべても掲載されている。

今回のホームページの更新・改訂により、サポートセンター設立の経緯やその足跡を読み取ることができる。サポートセンターの「あゆみ」とともに居場所を求める方々や学校関係者に活用して戴きたい。



## 編集後記

平成27年がスタートした。1月7日(水) 研究推進委員会があった。紀要原稿締め切り日でもある。「暮れの日」に全原稿が提出されていた。感謝します。」と編集担当者からの弁。1月7日は「七草の節句」別名で「人日の節句」でもある。人への感謝、人を大切にしたい日ともいわれている。このサポートセンターは人によって成り立っている組織である。日々「人日(じんじつ)」の節句で2月28日の研究報告会を迎えたい。